

学校長挨拶

本年度、本校は、1年生48名を新たに迎え、児童数366名、教職員総数32名でスタートしました。

本校の校訓『マジメニ ハタラク』は、明治37年に制定され、以来板城小学校で学ぶ児童の生きる指針として、指導され受け継がれています。

この校訓を踏まえ、学校教育目標を「自ら学び、よりよく生きようとする『板城っ子』の育成 ～自分が好き 友達が好き 学校が好き ふるさと板城が好き～」としています。子供たち一人一人に、確かな学力と社会性を身に付け、共に伸びようとする人間力を育成する中で、高い自己肯定感と向上心をもって、たくさんの人・もの・事に積極的に働きかける子供になることを目指しています。そのためには、子供たちの「ウェルビーイング (Well-being)」を高める必要があります。そこで、教職員の笑顔で、子供たちも笑顔になる幸福度の高い学校にしようという願いを込めて「いつも笑顔で、機嫌よく『チーム板城』」を教職員の合言葉とし、子供たちとともに、きらきらと輝き、ワクワクする素敵な学校にしていきたいと考えています。

また、本校の行動規範である「板城っ子6つの約束」に磨きをかけ、教職員も児童も、当たり前のことを当たり前にする学校風土を創り上げていきたいと考えております。

私たち教職員は、現状に満足することなく、日々児童に寄り添い、関わりきる指導を通して、板城小学校で「学んでよかった」「来させてよかった」と信頼され期待される学校づくりに向け、全力で教育活動を推進してまいります。保護者や地域の皆様方には、本年度の板城小学校の教育推進に関わり、これまでと同様に、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

令和6年4月

東広島市立板城小学校長 空本 秀寿